

■After 建築名称 下段: 英語名	クラシキ クラフト ワークビレッジ Kurashiki Craft Work Village		
建築用途	大分類 商業	小分類 店舗	
改修設計者	倉敷建築工房 檜村徹設計室		TOTO通信URL
所在地	岡山県倉敷市本町1-13		Google Map
改修年	2017年		After 旧街道沿いの外観。1階中央の開口部が新たに設けられた通り土間
建築規模	木造2階建、延床面積: 357.13㎡		撮影者提供者 撮影: 桐原武志 2023年
掲載書誌	TOTO通信 2027年秋号		概要 after 前面道路(旧街道)に面した建物だけでなく、裏の建物と空地にも人を引き込むため、建物を貫通した「通り土間」を新たに設けた。
賞・選定			
資料・その他			
■Before 建築名称	長屋		概要 before 旧街道添いに建つ築約170年の町家。敷地の街道沿いには建物が建っているが、奥には空地が広がっていた。
建築用途	大分類 住居	小分類 町家	
■写真 Before 通り土間を設ける前の外観	After 建物を貫通し新設された通り土間。両側に店舗、奥に明るい中庭が見える	After 通り土間の先にあるクラフトマンの店舗で囲まれた中庭	
			
撮影者提供者	撮影・提供: 檜村徹設計室	撮影者提供者	撮影: 桐原武志 2023年
		撮影者提供者	撮影: (有)建築写真室 提供: 檜村徹写真室
■リノベーション内容	キーワード 用途変更、挿入	内容 国内外からの観光客で賑わう倉敷の美観地区。街道に面する建物は土産店や飲食店に改修され活用されているが、奥には活用されない建物や空地が残されている。いかに奥まで人を引き込むかの課題に対して、設計者の檜村氏の解答は、街道に面する建物を改修し、奥に続く「通り土間」を設けること。半外部の土間とその先の明るい中庭が人々を奥へと誘導している。 奥の中庭を囲む店舗は、倉敷の工芸文化を継承するクラフトマンが入居し、店舗には工房が併設されている。一テナントで全ての施設を使用するのは難しい。そこで檜村氏と施主の青山氏は数名のクラフトマンを集め、公的な助成金も活用し、個性的な「クラシキ クラフト ワークビレッジ」を企画した。その甲斐もあり、それまで運河沿いに集中していた観光客を旧街道沿いにも呼び入れている。 リノベーションの設計者には、建築の設計だけでなく、運営のマネージメント力、補助金やクラウドファンディングなどで資金を集める能力も求められている。	
■備考	<檜村徹設計室websiteより> 代々住み継がれてきた町家を、工房が併設されている7店舗へと姿を変える。表から奥へとつながる「通り庭」も魅力の一つ。日本の民芸運動とゆかりの深い倉敷に 改めて「手仕事」を根付かせたい。倉敷から若い力で発信したいという代表の思いがひかる。		
■作成者氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		作成協力 檜村徹設計室